

学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.193

(財)日本学校保健会

生涯を通じて心豊かで
たくましく生きる子どもの育成
-家庭・地域との連携による
健康なライフスタイルの確立-
第42回全国学校保健研究大会の主題
(平成4年度 山梨県)



健康診断項目と環境衛生の基準改訂に思う

(財)日本学校保健会 専務理事 和久井 健三

新しい年度に入って、学校保健法の改正がいくつかあった。健康診断項目の改善や、学校における環境基準の改訂が主なるものである。

これらについては、本会における各委員会の熱心な討議の結果が、今回の改訂につながったと思って差支えない。この点、各委員長はじめ委員会委員に対して、心から敬意を表するものである。また、これらに対して文部省の助言と協力に感謝しなければならないと思う。健康診断項目の改善にしても、まだまだ積み残したものがある。例えば、歯科の問題、最近のいわゆる小児成人病の新しい問題、心の健康、性の問題など、なお、複雑な項目が残されている。これから解明に委員各位の一層の努力をお願いいたしたい。

また、環境改善による基準が法的にできても、これらを推進するためには、とくに学校薬剤師各位の不断のご努力が必要である。これらの成果は、定期・臨時の諸検査における結果に期待するが、検査のための器具の整備について各都道府県教育委員会の一段のご協力を望みたい。



プール開き

東京都台東区立田原小学校

目 次

保健学習について

目標と今日的課題	2
学習指導要領の改訂	3
小学校では	4
中学校・高等学校では	5
北から南から	6
保健会だより	7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

保健学習の目標と今日的課題

保健学習調査研究委員会 委員長 国崎 弘

1. 人生における“健康”的意味

人間の寿命が80年余と長くなり、また、科学の発展に伴う文明社会に生きてゆく生態としての人間にとて、精神的に充実し、身体的に健全に生きていいくことは、人生を意味あるものにするための基礎であり、かつ意味そのものもある。

さらに、人間が心身ともに健康に生きる具体的な生き方は、それぞれの年齢によって特性があり、その年齢の特性に即して生活・行動することが必要なこととなる。

これらのことから、人生を意義あるものにするためには心身ともに健康であること、そして、健康である人間がそれぞれ様々な人生の価値を求めて生きていくことである。

2. 生涯教育としての“健康”

人間が、それぞれの人生を価値あるものにするためには、心身ともに健康であることが必須の要件であり、かつ価値そのものであるが、では、心身ともに健康であるためには、健康に生きるための原理・原則（基礎・基本）をしっかりと理解するとともに、それぞれの年齢的特性をふまえた具体的な生き方（生活・行動）を身につけなければならない。そこに一生を通して“健康”について学ぶ必要性がある。

特に、児童・生徒期は、人間として価値ある人生を送るために必要な事柄の基礎・基本を理解し、その能力、態度を習得する適時的で重要な時期である。

3. 公教育としての学校教育の目標

公教育としての学校においては、人間が人間として生きていくための基礎・基本の全てを習得させることを基本的な目標としていることから、当然、その目標の重要なものとして“健康”について示されている。

従って、学校教育においては、心身ともに健康に生きる知識、能力および態度を習得させることを目標の1つとして掲げており、現実には、その目標を達成するための機能、すなわち保健教育（健康に関する指導）が行なわれている。

そして、その保健教育の具体的目標としては、①健康に関する原理・原則の理解、②健康に生きるた

めの生き方の習得（能力・態度）を考えることができる。

そこで、その目標を達成するために現在の制度（学校教育法関係法令）としては、機能的に教科において行なわれる健康に関する原理・原則の理解を中心としたもの（保健学習）と特別活動を中心とした健康に生きるための具体的な生き方を習得させるもの（保健指導）とに分け、それぞれが相互に深い関連を図りながら行うこととなっている。

4. 保健学習の目標

小学校の教科「体育」の保健領域、中学校の教科「保健体育」の保健分野および高等学校の教科「保健体育」の科目・保健として機能する保健学習は、『健康科学を基盤として、自他の生命を尊重し、生涯を通じて健康に生きるための基礎を培うこと。』を基礎的目标としており、これを受けて、小、中および高等学校の児童生徒の心身の発達の実態に基づいてそれぞれの学校の種類別に具体的な目標が示されている。

5. 保健学習の今日的課題

保健学習の実施について過去の実態をみると、全ての学校において保健学習の効果的な実施のために①事前の研修（児童生徒の興味・関心、健康生活の実態等の調査および身近かな資料等の収集等）、②具体的な指導計画（年間、単元および授業案）の作成③指導計画に基づく適切かつ効果的な授業の実施、④適切な形成評価および指導計画の評価等について十分に行なわれているとはいえない現状がある。

さらに、現代社会に生きる人間の健康の価値を考える時、もう一度学校における保健学習の必要性と価値をみなおす必要があり、また、新たに人間の生存と健康に直接係りのある「エコシステム」⁽¹⁾の問題が発生していることから、保健学習の目標に即してこの問題も積極的に取り組み取りいれる必要がある。

今後は、現在および将来の人間生活を考える時、もう一度保健学習の価値を考え、環境教育をも取り入れた研究と実践とが望まれる。

註(1) エコシステム（生態系）

一地域の生物と環境の機能的な相互関係のこと。

学習指導要領の改訂と保健学習のポイントについて

文部省体育局体育官 猪股俊二

新学習指導要領は「自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、個性を生かす教育の充実に努める」ことを改訂の基本の方針としている。

1. 小学校における保健学習

(1) 体の発育と心の発達

「心の発達」では、「心」を知・情・意の精神的な働きの総称として捉え、知的能力の発達と感情、社会性の発達について、さらに年齢や生活経験との関わりについて理解させながら心の健康の重要性を指導する。

(2) けがの防止

事故の発生は主体一環境の2要因の観点で指導する。校内の事故を学校生活の事故と改め、学校管理下の事故を対象にして広範囲に教材化することができるようになったことに留意する。

(3) 病気の予防

病気の原因を病原体・環境、体の抵抗力・生活行動の2要因から考えさせ、その防止の方法としては望ましい生活行動の習慣化、感染症の予防が重要であることについて指導する。特に生活行動に起因する疾病は児童の身近な疾病を題材にして理解を深める。

(4) 健康な生活

現行の「体の発育」で削除された「運動、食事、休養、睡眠の調和のある生活行動と健康」の内容を「運動、休養、睡眠、食事と健康」として新たに加え、健康な生活の基礎的事項を多元的に理解させることが重要であり、生涯を通じた健康な生活を送るための基礎理解に連動させることである。

なお小学校における保健領域の性に関する内容を拡大して性教育元年と呼称しているむきもあるが、保健学習の指導内容には「思春期に起こる体の変化」としての現象を理解できるようにすることとしており、改訂前の指導内容に関する基本的観点は変更していない。

2. 中学校における保健学習

(1) 心身の機能の発達と心の健康

二次性徴に関する科学的理説は、精神的安定を促す観点から中学生期の必須の指導内容である。また、精神構造を再構築する時期だけに精神機能の基礎理解も重要である。

(2) 健康と環境

個人生活における環境の諸条件と健康との関係を適応能力、居住する室内環境条件、日光、生活廃棄物を題材として展開し、人間の健康は環境と深くかかわって成立していることを理解できるようにする。

(3) 傷害の防止

傷害は人的要因、環境要因の2要因がかかわって発生することを理解させた上で、安全行動や環境改

善の必要性を理解させる。特に自転車の事故防止の必要性について、中学生期の特性から理解できるようとする。

(4) 疾病の予防

疾病の発生が主体一環境の2要因から生じることを理解させる。特に、生活行動の問題が直接、間接の原因となって起こる健康障害を喫煙、飲酒、薬物乱用を教材にして理解できるようにする。

(5) 健康と生活

積極的な健康増進の視点から生活行動と健康のかかわりについて理解させる。特に、運動、食事、疲労回復に関して科学的理説を通して生活化を図る必要性を指導する。さらに義務教育の最終学年として個人の健康だけでなく集団の健康について視野を広げる指導も重要である。

3. 高等学校における保健学習

1) 現代社会と健康

高校生期を中心とした個人の生活行動と健康について、ライフスタイルと健康、心の健康、交通安全など具体的な事象について包括的に理解できるように指導する。特に応急処置の指導は、心疾患、労働災害、交通事故等を起因とした心停止などの不幸な状況の多発に対応することと、「バイ・スタンダー」⁽¹⁾としての人間社会の理念の習得にある。

(2) 環境と健康

近年の地球規模の環境汚染は自然生態系の破壊にとどまらず、人間の健康を阻害するだけでなく人間を含めた全生物の生存を否定するような危機的状況にある。環境と人間の健康との関わりについて理解を深め、環境保全に対する能力と態度を育てるように指導する。

(3) 生涯を通じる健康

思春期における心身の健康は生涯を通じて健康であるための基盤であり、特に高校生期の性の問題はこの時期の心身の健康と深くかかわっている。さらに性の問題は成人期の人間適応の中心課題となるほど重要な事柄でもある。人生各期の健康について結婚と健康、母子保健の理解は、高等学校卒業後家庭生活に入る生徒がいることを踏まえ、系統的指導として重要な指導内容である。

(4) 集団の健康

中学校の履修を基礎に人間の健康の保持増進に関する家庭、地域、国家等の社会防衛的な視点から学習させる内容である。WHOの「西暦2000年までに全ての人に健康を」にみられるように、世界的な諸活動に関しての理解が、自他の生命の尊重の認識を発展させる重要な事柄なのである。

註(1) バイ・スタンダー (By stander)

手順正しい心肺蘇生法を施しながら、救急車を手配するのが居合せた者の義務とする考え方で、すでに欧米では市民の間に定着している。

小学校における保健学習のあり方

東京都文京区立青柳小学校 教諭 白石 孝久

はじめに

1. 保健学習の存在が知られてきた。

今年2月頃から5月頃にかけて、主として週刊誌を中心にして一部新聞、テレビ等でも「小学校で性教育が始まる、お父さん、お母さん心構えができるといいますか?」式の報道が行われた。これは、報道する側が学習指導要領、指導書体育編をきちんと読んでいないところからくる誤解からきたものである。その後、文部省の見解等がきちんと報道され、都道府県の研修会も実施されてくるとこうした過った報道はされなくなった。もし、この過った報道に功罪の功があるとすれば、このことにより、多くの保護者が体育科に保健学習が存在し、教科書が配布され、健康に関する授業が行われるという認識をもつたことがそれである。同時に教師一人一人もより強い関心を示したに違いない。

保健学習を語る時、社会、学校、家庭のこうした現実から出発しなければならない。

そのことをふまえた上で「保健学習のあり方」について考えてみたい。

授業前にしておくこと

2. 教材研究を深める

小学校での保健学習は、中学、高校と違い全科を受け持つ担任教師が授業を行う。

この3月まで公表されていた保健学習の実施率は、数%であったことから大多数の教師は、保健学習に関する基礎的知識、学習形態等については、よく知らないかったというのが正直なところであろう。

事実、ある学校の日曜授業参観での保健学習(病気の予防)では、病気の分類が間違っていた。

小学校の教師は、中学、高校の保健体育教師と違い、授業の大部分が教室である。保健学習に関する基礎的知識をしっかりと身につければよりよい授業が展開される可能性が高い。

3. 児童理解を徹底する。

私は、よい授業の条件のひとつは児童理解の深さ

だと考えている。

例えば、『体の発育と心の発達』では、学級の女子の大半が初経を経験していれば、当然、学習内容のとり上げ方も違ってくる。児童の居住地域が非常に交通量の多い道路に近いのであれば、『けがの防止』での時間数の取り方、『健康な生活』での空気の汚れの扱い方、あるいは、実情によっては騒音等の問題にふれて授業をする必要が出てくるだろう。

児童に関する正確で細かく深い情報をもち授業の中で生かしたいものである。

授業はこうして

4. 児童の側に立った授業展開をめざす

保健学習をより効果的に展開するためには児童一人一人が本来もっているさまざまなよさや可能性を自から生かすことができる学習活動が大切である。

そのためには、学習をすすめていく上で、自から考え、判断し、試みるなどの機会を増やすようにしながら、学習の楽しさや充実感を味わうようにする必要がある。

そのための指導法の工夫として以下の点が考えられる。

① 学習過程の工夫

個人・グループの課題を大切にした学習過程。

② 課題設定の工夫

教師が用意したいいくつかの課題から、自分で課題をみつける。

③ 学習形態の工夫

個人・グループを適宜取り入れる。

④ 評価基準の開発

学ぶ意欲を高めるには、自己評価が欠かせない。的確な判断や行動ができる自己評価能力が必要である。

そのためには、児童の実態に即した評価基準の開発が重要である。

これらを実践していくことで児童一人一人を伸ばす、児童の側に立った授業が展開できると確信する。

中学校における保健学習

埼玉県上尾市立上尾中学校

教諭 森井 哲夫

医学・医療が進歩し、人生80年といわれる時代を迎えるにあたって、生涯を通じて健康で安全な生活を送れるということは、人生最高の幸福である。たとえば、健康についても、治療から予防が重視され、かつての病気の主役であった伝染病が成人病にかわり、過去数十年にわたる生活（行動）と密接な関係があるなど、中学校期における健康に対する考え方・行動がかなり将来の健康に内外的な影響をあたえてしまうのである。したがって、中学校の保健学習においては個人生活における健康・安全に関する事項の理解と身心の発達段階に応じて自主的・自発的に健康な生活を実践する能力の育成を目的とするものである。

また、授業形態が教師主導の一斉指導型の授業展開では、単に知識としての記憶としてとどまってしまうことが多い。生徒が実生活で健康・安全の問題に直面した場合に、保健学習を通じて得た科学的な知識が実際の生活の中で具現化されることが、保健学習の「理解」をより意味あるものとする。

そのためには、生徒が実生活の健康安全について身近な問題を取り上げ、科学的思考を加えて内容や課題の分析を繰り返えしながら、問題や疑問を追求し解決を図って行くようにすることが大切である。

生徒の健康状態には個人差があり、おのずと個々の課題や解決内容に差が生じる場面も多くなる。したがって生徒一人一人の能力・適性・興味・関心をふまえて、「個に応じた学習指導」の充実が大切になる。どの生徒にとっても、個人の健康だけでなく、集団の健康も理解でき、わかる楽しい保健学習の授業を目指すことが大切である。

高等学校における保健学習

千葉県立船橋高等学校

教諭 今関 豊一

新学習指導要領（平成6年度実施）では、生活行動と健康、自己実現、生涯を通じる健康といった領域・項目が新たに設けられている。解説の文言は、従来の知識理解（認識）面に加えて行動面が重視されている。このことは、健康の科学に裏うちされた行動を行き起こすことが求められていると思われる。

行動化するひとつの方法として、実習によって具体的な追体験をするプロセスが授業に組み込まれることは、今後の保健学習にとって課題となるであろう。例えば、応急処置、交通安全にとどまらず、自己実現、思春期と健康といった項目でも、実際の行動を通じて授業展開の編成を工夫してはどうか。そこで利用するものは、自己理解をすすめて発展していく可能性のある心の健康を実感できるものであり、集団や社会の中で健康な生活を送ることができるようにするための技能である。

私は、ゲーム感覚の含まれる「協力ゲーム」「ブラインドウォーク」「ロール・プレイング」「自律訓練法」といった実習を実践している。これらは、自己発見・存在感・生活技術・自己コントロールを通して意志決定への橋渡しを目的としている。いずれも、体を動かしながら学習をすすめようとするものである。

実習では、まず生徒の興味関心を高め、漠然とした注意から注目させ、応用や分析によって矛盾を突いたりしながら搔きぶりを繰り返している。子どもたちが、学んだことに価値を見出し追求して行く可能性をもつ授業の展開にしたいのである。

注意したいのは、体験をすることや技術の習得をすることのみに目的を定めたり、技能の方法の解説に終始してはならないことである。授業展開は、例えば応急処置の技能を身につけるだけでなく、実行する場合の価値判断や意志決定にまで踏み込んだ取り扱いが重要である。

多くの実践が蓄積されることを期待したい。

北から南から

二つの学校保健会

愛知県学校保健会理事長
愛知県立高等学校学校保健会理事長

寺尾允宏

本県には、公立小・中学校（名古屋市立を除く）を対象とした愛知県学校保健会と、県立学校を対象とした愛知県立高等学校学校保健会があります。この二つの保健会は、会計も別で、それぞれ独自に活動しています。

県学校保健会は、下部組織として31の郡・市保健会を持ち、学校保健・安全に関する普及啓発として、健康推進学校の表彰等を含めた研究大会を開催したり、日本学校保健会、文部省等の行う事業への積極的参加を推進し関係者の資質の向上に努めています。

一方、県立高等学校学校保健会は、下部組織として5つの支部保健会を持ち、生徒の研究発表を含めた研究大会の開催等、学校保健安全に関する普及啓発、関係者の資質の向上に努めています。また、調査研究事業として昭和63年度から3か年「性及びエイズ教育調査研究」を、平成3年度から3か年「生徒の健康に関する調査研究」を、県教育委員会と協力し実施しています。

このように、二つの保健会はそれぞれの対象にあわせた事業を行っているが、会長・副会長会の開催や会報「あいち学校保健」の編集等の事業は合同で実施し、常に2つの保健会の連携を図っています。

日本学校保健会等関係団体との連携については昭和63年度「エイズ問題を含む性に関する指導推進事業」のモデル地区の指定、平成2年地域学校保健組織活動推進事業モデル地区の指定を受けるなど、日本学校保健会からの委託事業も積極的に推進しています。今後も、詳細な最新情報を中央から求めつつ、それぞれの目標にあった学校保健会の充実を図り、お互いの連携も密にしていきたいと考えています。

虎の門(16)

喉の渴いた時の一杯の水は本当においしい。水は万物の源、土は万物の母といわれている。人の体重の約 $\frac{2}{3}$ は水分であり、これが保たれている限り生命は安定で、健康で快適でもある。

日本の国土には平均して約1,700mm(6,600億トン)の雨が降るといわれ、この $\frac{1}{3}$ は蒸発して空に帰り、

$\frac{1}{3}$ が海に流れ、 $\frac{1}{3}$ が実際に使える量で、水そのものとして使う量とエネルギーに転換される量全てを含んでいる。ダム等で人工的に貯水できる量は約20%であって、しかも環境破壊や高価な費用と犠牲が伴う。

学校の管理費の約40%は水道光熱費であり、安心して使用できる

エイズの講演会をPTAが開催

山梨県富士吉田市立下吉田中学校

校長 篠原英博

本校（生徒数961人）PTAは毎年教育講演会を開いています。今回は「人類存亡の危機とも言われ社会的にも大きな問題となっているエイズについて保護者がまず正しい知識を持つことが大事」としてエイズ問題を取り上げることに決め、同時に家庭での性教育を考える機会とすることにし、5月11日実施しました。

講演会の講師にはエイズ問題の第一人者である厚生省エイズサーベイランス委員長の順天堂大学塩川優一名誉教授を迎えて「エイズの実態と家庭における性教育」と題して講演をいただきました。もちろん

PTAが主催したエイズ講演会は県内はもちろん、全国でも初めてと言われ保護者、教育関係者、保健行政の方がたが関心を寄せて当日は560名を越える参加者がありました。

この反響は大きく地元CATVの特別番組での放映、県内各新聞社、テレビ局なども取り上げました。学校教育では中学三年の保健で簡単に扱う程度ですが、今回の講演会をきっかけにエイズについての指導を考えてみたいと思います。

また、家庭においても性にかかわる話題が家族の中で出ることを期待しています。

下吉田中学校PTA会長 白須邦敬

今エイズは大きな社会問題として避けて通れない身近な問題であります。私達PTAが企画して塩川先生の話を聞く機会を得ました。

この講演の反響も大きく、エイズに対する正しい知識、予防対策など講演から学び、家庭での性の教育ができるきっかけになったと多くの会員の声を聞きました。主催者として喜んでいると同時に塩川先生に深く感謝しております。

飲み水の大切さ

よう日に日常点検と定期検査によつて万全が期されている。

豊かな生活で使用量も増え水源の汚れも指摘されている昨今、栓をひねれば安心して飲める日本、外国ではままにならない国も多い。

水の大切さを考えてみよう。

(編集委員 杉下順一郎)

日本学校保健会だより

文部省・学校健康教育課の人事異動



奥田與志清体育局長 石川 晋大臣官房審議官

近藤信司
学校健康教育課長

文部省では、7月1日付けで、体育局長、大臣官房審議官の異動がありました。

体育局長に奥田與志清氏(前高等教育局私学部長)が就任され、大臣官房審議官(体育局担当)に石川 晋氏(前体育課長)が就任されました。

なお、前体育局長 逸見博昌氏は退官され、前大臣官房審議官(体育局担当)中林勝男氏は高等教育局私学部長に栄転されました。

また、学校健康教育課でも人事異動があり、7月1日付けで

課長 近藤信司氏(前小学校課長)
専門員 北島智子氏(厚生省)

7月6日付けで

課長補佐 林 和弘氏(前国際学術課専門員)が就任されました。

なお、前学校健康教育課長 富岡賢治氏は、高等学校課長に、企画官 竹本廣文氏は、教育文化交流室長に、また、専門員 梅田珠実氏は、厚生省大臣官房厚生科学課課長補佐に栄転されました。

平成4年度 全国学校保健研究大会・地域ブロック大会

第42回 全国学校保健研究大会

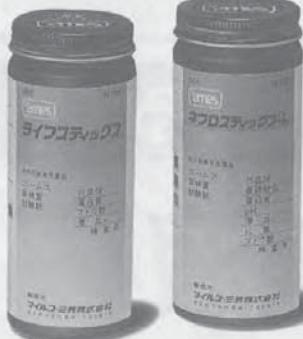
1. 主題 生涯を通じて心豊かでたくましく生きる子どもの育成
—家庭・地域との連携による健康新生活スタイルの確立—

2. 期日 平成4年11月5日(木)・6日(金)

3. 開催地及び会場

開催地 山梨県甲府市
会場 全体会 山梨県民文化ホール
(大・小)
分科会 甲府市内の12会場

大会名(期日)	開催地	主題
第42回十二大都市学校保健協議会 〔5月24日(日)・25日(月)〕	仙台市	自らの健康に関心をもち、生涯たくましく生き抜く子どもの育成 —ひろい心・すこやかな体・豊かな創造力を求めて—
第14回近畿学校保健連絡協議会 〔7月23日(木)〕	滋賀県	各府県学校保健会から提出された課題に基づき協議する
第27回東北学校保健大会 〔8月11日(火)・12日(水)〕	秋田県	自ら進んで健康づくりに取り組み、生涯を通じて健康で安全な生活のできる幼児・児童・生徒の育成
第38回中国地区学校保健協議会 〔8月19日(水)・20日(木)〕	岡山県	豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成をめざして —健康なライフスタイルの確立—
第42回九州地区学校保健研究協議会 〔8月23日(日)・24日(月)〕	熊本県	健康的なライフスタイルの形成をめざす学校保健 ～基本的生活習慣の確立を通して～
第43回関東甲信越静学校保健大会 〔8月28日(金)・29日(土)〕	東京都	生涯を通じて、健康な生活を主体的におくることができる子どもの育成
第41回北海道学校保健研究大会 〔10月24日(土)・25日(日)〕	留辺蘿町	北国の風土に根ざし、生涯にわたって自らを鍛え、健全な生活を
第14回東海ブロック学校保健大会 〔11月13日(金)〕	愛知県	生涯を通じて、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成



試験紙ができる、尿中白血球検査。

エムズが新しい一日で健康をみつめます



集団検診項目に、尿中白血球反応を加えませんか?
尿路感染症スクリーニングも、その場で…

ライフスタイル

エムズ尿検査試験紙 ■ プドウ糖、比重、潜血(A)、pH、蛋白質、硝酸塩、白血球
ネフロフティックス・L

体外診断用医薬品

マイルス・三共株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号

販売元：

三共株式会社

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎ (03)3562-0411

JU0892-S

殺菌灯付き壁掛け用(50本用)歯ブラシボックス

- 扉を開けると殺菌灯が消える設計となっています。
- タイマー内蔵方式ですので、殺菌終了後自動消灯するため歯ブラシなどをいためません。

又、電気代も節約出来ます。

サイズ 50(W)×60(H)×9(D)cm

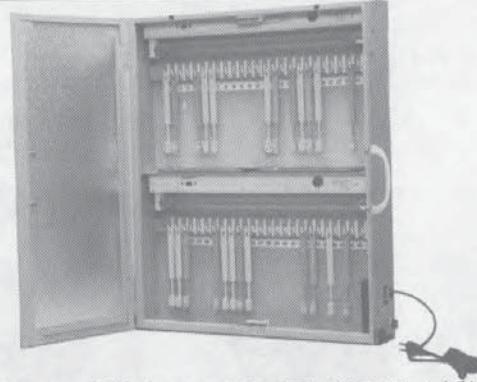
重量 4.5kg

材質 スチール製焼付け塗装、保護ラバー(下部コーナー2カ所)付き

殺菌灯 15W×2灯 100V 50~60Hz

扉の構造 観音開き、マグネットキャッチ式

希望小売価格 46,350円



企画・制作/ライオン株式会社 お問い合わせ・ご注文/〒130 東京都墨田区横網1-2-16 東誠ビル ☎03-3621-6261 財ライオン歯科衛生研究所

Santen**現代っ子の目、もっと大切に!!**

目の疲れ・眼病予防に

こどもサンテ

目薬

S ひと・ひとみ・すごやか。
参天製薬株式会社
大阪市東淀川区下新庄3-9-19**小学校 喫煙防止に関する保健指導の手引**(財)日本学校保健会 編
★A5判・96頁・定価900円(税込)**中学校 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する保健指導の手引**(財)日本学校保健会 編
★A5判・110頁・定価1,000円(税込)**高等学校 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する保健指導の手引**(財)日本学校保健会 編
★A5判・152頁・定価1,200円(税込)**第一法規**〒107 東京都港区南青山2-11-17
☎(03)3404-2251/FAX(03)3404-2269

※定価は税込みです。

**リブリオの
♥コレクション**監修 カトリーヌ・ドルト=トリッヂ/訳 比留間恭子
B5変型 オールカラー 汎定価10,712円(税込)**日本学校保健会推せん図書**

健康で快適な生活をおくるために知っておきたいことを満載したユニークな実用書。図書館必備のシリーズです。

リブリオ出版 〒112 東京都文京区小日向2-10-21
☎03(3943)8885 FAX 03(3943)3540

- ①ねむりのための6章 ——睡眠のすべてがわかる本
ジャネット・ブートン他著 104ページ
- ②生まれるための9か月 ——出産のすべてがわかる本
カトリーヌ・ドルト=トリッヂ著 64ページ
- ③からだのための7色 ——栄養学のすべてがわかる本
クレール・トゥレモリエール他著 112ページ
- ④はらべこみのための38皿 ——料理のたのしさがわかる本
ポール=アンドレ・タンク著 88ページ
- ⑤ほほえむための32本 ——歯のすべてがわかる本
マルク・ヴィニッキ他著 88ページ

★既5巻

手を洗うと、殺菌・消毒も同時にできる！**シャボネット[®]石鹼液**

多人数でお使いになるときは、連結式手洗い装置をご利用ください。

日本学校保健会 推せん品

サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521